

**【作業状況】**

3階床梁のコンクリート打設工事と並行して、躯体工事が完了している下層階では、支保工を撤去し内装工事の準備を行っています。

石岡市新庁舎建設工事  
平成30年10月 完成予定

**【進捗状況 No. 07】**

平成30年4月24日現在

**➤ 3階床梁のコンクリート打設**

4月下旬～5月上旬にかけて、3階床梁のコンクリート打設工事を行い、並行して下層階では支保工の撤去作業を進めています。3階床工事の後は、鉄骨屋根の工事に入る予定です。

【全景（平成30年4月24日）】



**【地下1階の様子】**



(支保工撤去前)

型枠を支えるため、数えきれないほどの支保工が設置されていました。



(支保工撤去後)

躯体工事が完了した下層階では、支保工を撤去し、内装工事の準備を始めています。

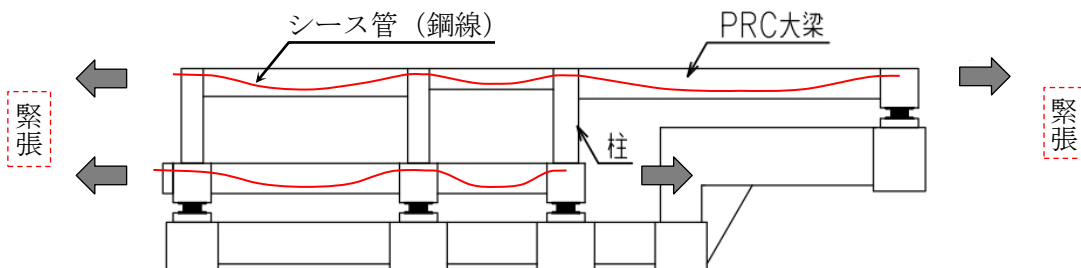
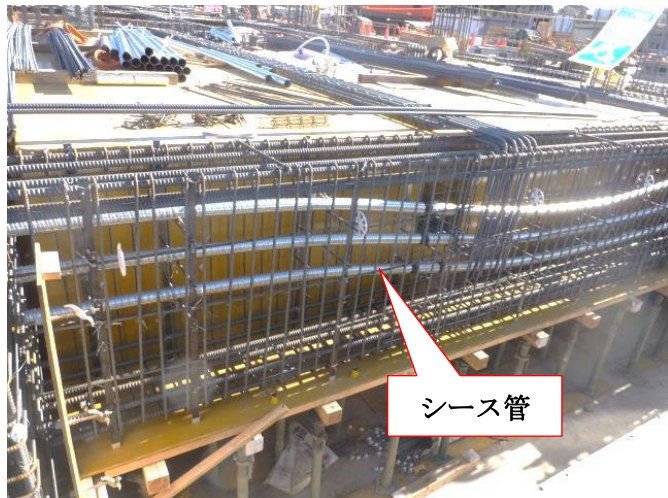
### 【プレストレストコンクリートの導入】

プレストレストコンクリートとは、梁の中を通した鋼線を緊張させ、伸ばされた鋼線に戻る圧縮力によって、強度が増したコンクリートです。

引張強度に弱いというコンクリートの欠点を補うことで、大スパンの執務空間を確保することができます。新庁舎の大梁には、このプレストレストコンクリートを導入しています。

### プレストレスの作業工程

- ① 鋼線を通したシース管という管を梁の中に設置
- ② 梁にコンクリートを打設、養生
- ③ ジャッキで鋼線を引っ張り、端部を固定（緊張）
- ④ シース管内をグラウトで充填させる



### 【天井の木架構】

1階正面エントランス 及び 3階の天井は、木架構を表しにした特徴的な構造になります。複雑な構造をしているためモックアップ(模型)を製作し、施工方法や仕上がりの確認をしています。



エントランスホール(イメージ)